MCS ロガーアプリ操作説明書 第２版

本アプリは弊社データロガーFT2、FTJR および FAST の測定状況確認や測定データ回収を、Android OS 搭載のスマートフォンやタブレット端末から行うことができる Android 用アプリです。

機能

- ルータのポートフォワーディング機能を利用したインターネットを介した接続での遠隔操作
- ローカルネットワークに接続されたロガーの Wi-Fi 接続での操作
- アドホックモードで接続したロガーの操作
- 複数個所に設置されたロガーの管理機能
- ロガーの測定値の参照、現在の測定値確認
- ロガーの測定データの回収、保存機能

動作環境

- OS　　Android 2.3.4 以上
- 端末　　通信回線（3G/4G/LTE）もしくは Wi-Fi によるインターネット接続

ダウンロードの前に

本アプリをダウンロードする前に「提供元不明のアプリ」の「サードパーティ製アプリのインストールの許可」を許可にしてください。
「提供元不明のアプリ」の設定は、「設定」―「セキュリティ」ページにあります。
本設定を行わずにインストールを行った場合、「インストールはブロックされました」と表示され、設定の変更を確認する画面が表示されますので、「設定」をタップして選択してセキュリティ設定ページを開き、設定を変更してください。

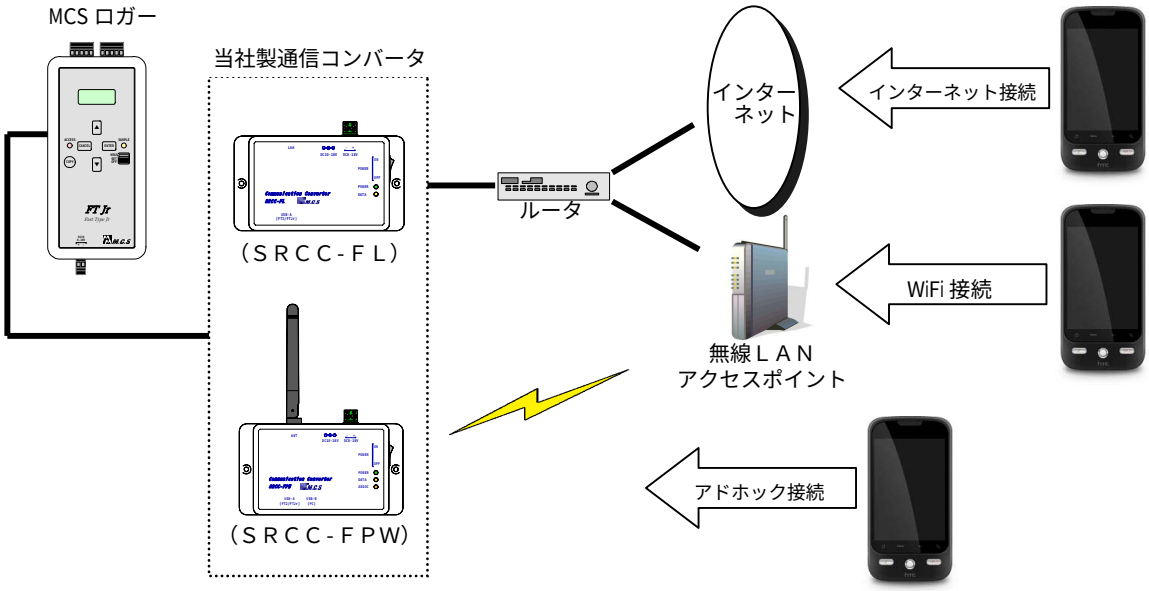
ダウンロード

ご購入後に当社よりご案内するメールに記載された手順に従って、ユーザー登録、ダウンロードして下さい。
ダウンロードファイル名は McsLoggerMonitor.apk です。
※ダウンロードを複数回行った場合、McsLoggerMonitor-1.apk、McsLoggerMonitor-2.apk・・・とファイル名が自動的に変更されて保存されますが、問題はありません。

インストール

ダウンロードが完了したら、パッケージインストーラによりインストールしてください。
ダウンロードしたファイルが見つからない場合は、アプリ一覧の「ダウンロード」を開いてください。
インストールが終了したら、セキュリティ設定の「サードパーティ製アプリのインストールの許可」の許可のチェックを外してください。

ロガー遠隔接続システム構成（例）



本アプリから MCS ロガーの確認操作を行う為には、MCS ロガーをネットワークに接続するか、機器同士が 1 対 1 で直接通信するアドホック接続で Android 端末と接続する必要があります。

ネットワークに MCS ロガーを接続することができる、当社製通信コンバータ（以下 SRCC）を使用する場合、SRCC にローカル IP アドレス、待ち受けポート番号、RS232C の通信速度等を設定します。（※SRCC 取扱説明書参照）

インターネット接続する場合

インターネット越しにネットワーク接続する場合、MCS ロガー側（SRCC）の IP アドレスが固定 IP アドレスであるか、DDNS（ダイナミックドメインネームサービス）などのサービスを利用していることが前提です。ルータのポートフォワーディング機能などを利用して、外部から MCS ロガー側（SRCC）へアクセス可能な状態になっている必要があります。

DDNS 等で取得したアドレスがアプリから MCS ロガーに接続する時の IP になります。MCS ロガー側（SRCC）に設定した待ち受けポート番号がアプリから MCS ロガーに接続する時の PORT になります。

Wi-Fi 接続する場合

MCS ロガーが接続しているローカルネットワークに、Android 端末を Wi-Fi 接続します。

MCS ロガー側（SRCC）に設定したローカル IP アドレス、待ち受けポート番号がアプリから MCS ロガーに接続する時の IP、PORT になります。

アドホック接続する場合

MCS ロガー側（SRCC）をアドホックモードにします。（※SRCC 取扱説明書参照）

Android 端末の Wi-Fi 設定から MCS ロガー側（SRCC）にアドホック接続します。MCS ロガー側（SRCC）に設定したローカル IP アドレス、待ち受けポート番号がアプリから MCS ロガーに接続する時の IP、PORT になります。

初期設定・接続先の登録

遠隔操作する MCS ロガーの接続先情報を登録（保存）します。
接続先名、ＩＰアドレス（ドメイン名)、ＰＯＲＴ番号を接続先として保存します。

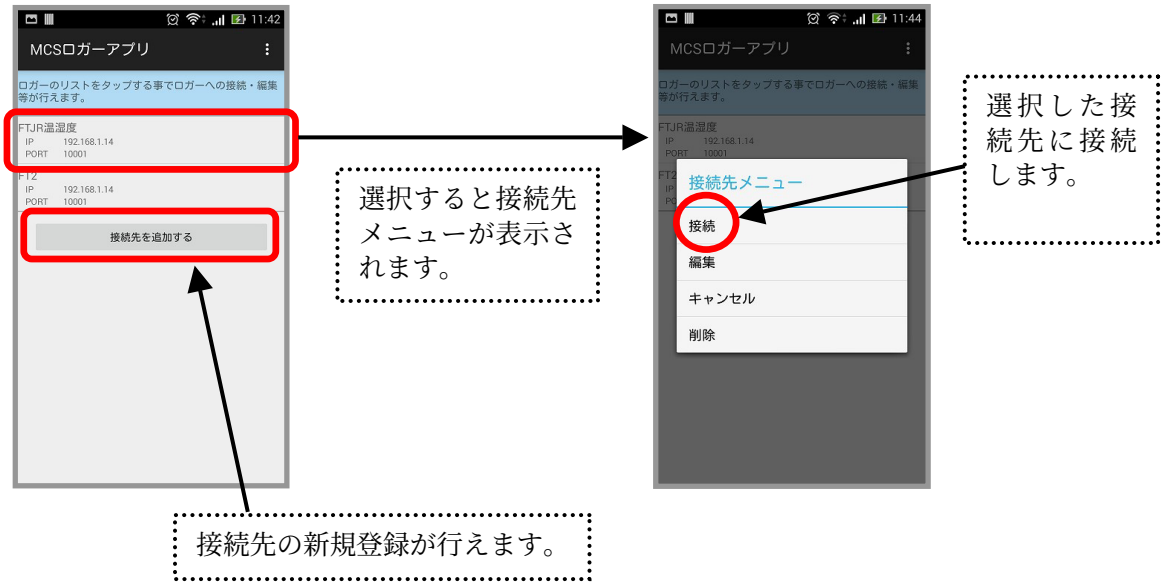
接続先名を入力します。
（例） FTJR 温湿度監視　等

接続先の IP アドレスを入力します。
（例）
IPアドレスでの設定　192.168.1.14
ドメイン名での設定　www.iobb.net

接続先の PORT 番号を入力します。
（例）　10001

接続先メニュー

接続先メニューから保存した接続先への接続、接続先情報の編集等が行えます。
接続先は複数登録することもできます。



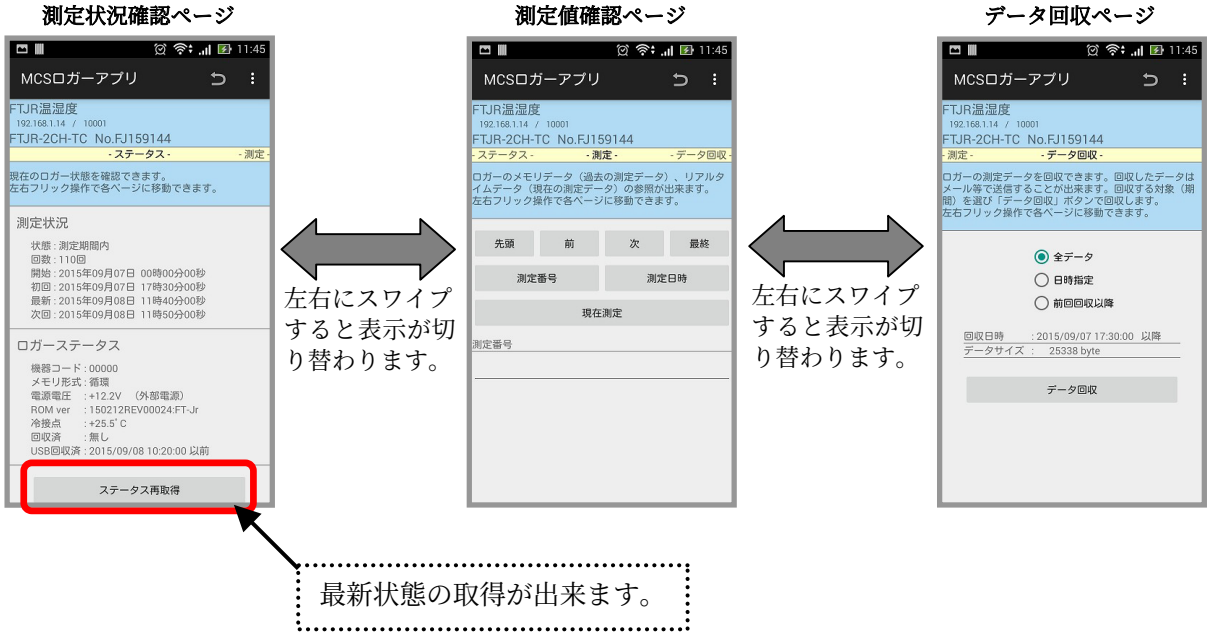
選択すると接続先メニューが表示されます。

選択した接続先に接続します。

接続先の新規登録が行えます。

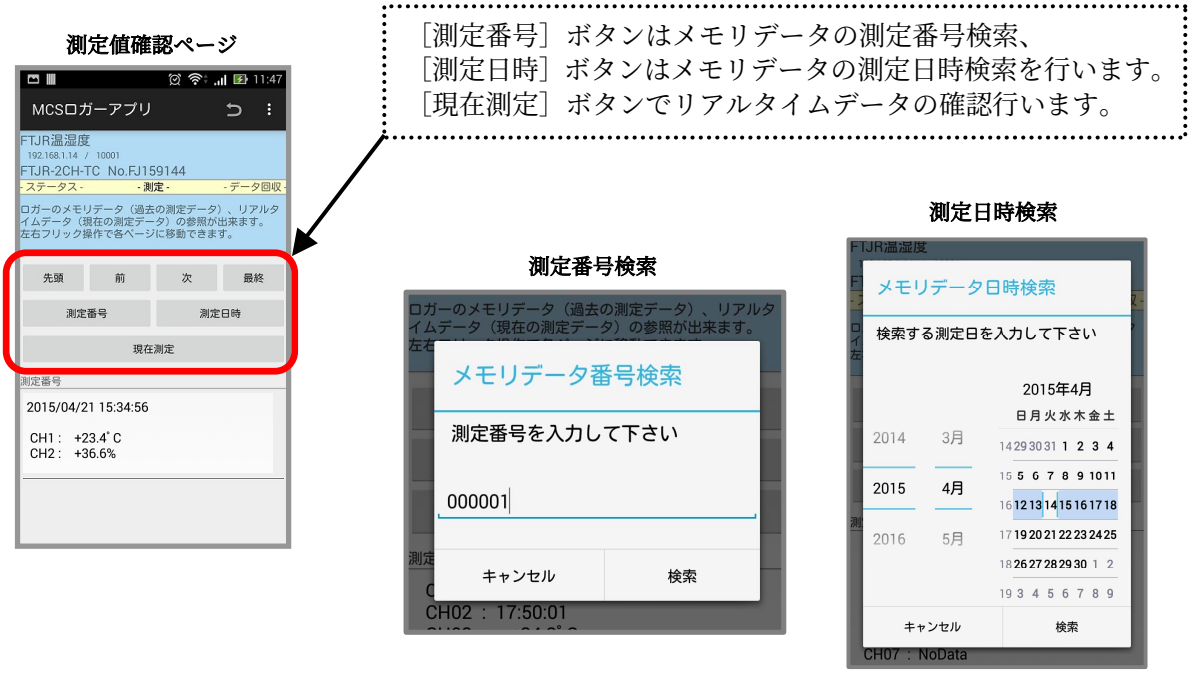
測定状況確認

アプリから MCS ロガーに遠隔接続すると MCS ロガーの現在の測定状況が表示されます。



メモリデータ、リアルタイムデータの確認

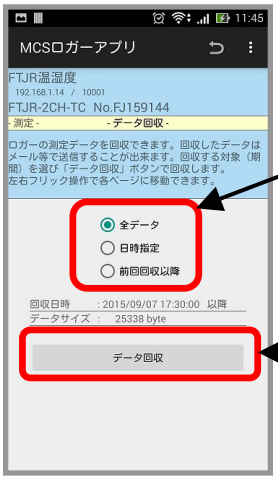
ロガーのメモリデータ（過去の測定データ）、リアルタイムデータ（現在の測定データ）の確認が出来ます。



測定データ回収

ロガーの測定データの回収が出来ます。回収したデータはメール等で送信することが可能です。回収したい対象（期間）を選択しデータ回収を行います。

データ回収ページ



回収データの対象（期間）を選択します。
・全データ　　：全測定データ
・日時指定　　：指定日時以降の測定データ
・前回回収以降：前回回収したデータ以降の測定データ

指定した対象（期間）の測定データを回収します。

回収した測定データは保存、メール等で送信することが出来ます。
保存した測定データは、何時でも送信することが可能です。

送信するアプリ（メール等）を選択します。

データを保存することが出来ます。

保存した測定データの参照

MCS ロガーに接続し回収した測定データは保存する事が出来ます。
保存した測定データは送信（メール等）することが出来ます。